

平成 28 年度 第 4 回千年のかくれんぼフォトコンテスト

平成 29 年 3 月 13 日



〔三好和義氏の略歴〕

58 年徳島生まれ。

85 年初めての写真集「RAKUEN」で木村伊兵衛賞を受賞。以降「楽園」をテーマにタヒチ、モルディブ、ハワイをはじめ世界各地で撮影。その多くは写真集として発表。

近年は伊勢神宮、屋久島、仏像など日本での撮影も多い。日本の世界遺産を撮った作品は国際交流基金により世界中を巡回中。14 年春ニッコールクラブ顧問に就任。

審査員「三好和義氏」の第 4 回千年のかくれんぼフォトコンテストに対する総評

見ごたえのある作品がずらりと並びました。

荘厳で、格調のある作品を見ていると心が癒されます。

僕がまだ知らない風景も多く見られ、三好市の魅力は尽きないなと感じました。

この三好市は、写真愛好家にとっては、まさに宝箱のような場所です。

訪れる季節などタイミングによって、七色の表情を見せてくれます。

写真を通じて、この三好市の魅力をもっともっと多くの人に知ってもらいたいと思いました。

歴史ある、この地に隠された秘宝を探して、また次回、素晴らしい作品に出会えることを楽しみにしています。

平成 28 年度 第 4 回千年のかくれんぼフォトコンテスト-入選作品 34 点のご紹介
(審査員は三好和義氏)



最優秀賞「燃ゆる高原」

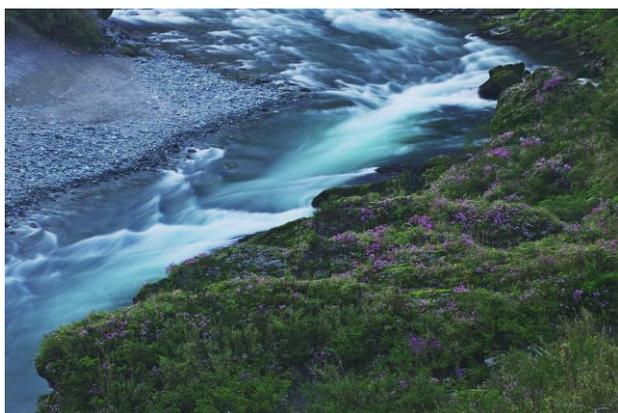
氏名：豊田 郁夫(愛媛県 在住)

撮影地：山城町

撮影日：2016 年 4 月 2 日

【審査員講評】

春に行われる塩塚高原の野焼きです。この世のものとは思えない光景にこころが震えました。天に昇る龍のごとく、空を染め上げる紅色の光は幻想的な美しさです。誰もが一度は見てみたい！と思う光景でしょう。真っ暗になる直前、まだ空に薄明かりが残る時間にシャッターを切ったので、空の青い雲と、野焼きの紅い煙が見事な奥行きを作り上げています。左に小さく配された人物も、大きさ、位置とともに、この作品をダイナミックに見せています。



1 席「水辺の花園」

氏名：川内 秀喜(徳島県 在住)

撮影地：山城町

撮影日：2016年4月15日

【審査員講評】

大歩危峡の岩つつじが、溪谷を埋め尽くしています。まさに桃源郷のようです。新緑の緑とつつじの紫の対比が美しいです。またカーブを描く水の流れも優雅です。フレーミングも的確な切り取り方です。スローシャッターで水の流れをブラしたところもテクニックが光っています。影のないフラットな光線の具合も、この場合上手くいっています。



2 席「いろり端」

氏名：美馬 克行(徳島県 在住)

撮影地：西祖谷山村

撮影日：2016年3月20日

【審査員講評】

囲炉裏端での温かいもてなしが自然な雰囲気
に撮られています。今年の撮影会、ホテルか
ずら橋「半兵衛の家」で撮られた作品です。
タテ位置にして、真っ黒に煤けた天井を取り
入れたことによって、広がりのある温かい空
間になっています。人物の表情、動き、目線
など、いいシャッターチャンスをものにして
います。アンバー調の色調も落ち着いた雰
囲気を醸し出しています。



3席「桜の山里」

市村 茂樹(徳島県 在住)

撮影地:山城町

撮影日:2016年4月2日

【審査員講評】

急な山肌を彩る桜花がポワッと漂う霧のようです。濃いピンクの花もいいアクセントになっています。その間に点在する家々が、昔話の絵本に出てくる挿絵のようです。太陽の光の当たり方が絶妙です。少し逆光気味なせいで花が透けるようで、奥行き感を上手く出しています。



入選「冬日」

氏名:宮武 豊子(香川県 在住)

撮影地:東祖谷

撮影日:2016年2月18日

【審査員講評】

軒先にぶら下る水柱が真っ青な空に映えています。真っ白な雪山と雪解けした集落に太陽の暖かさを感じます。構図の取り方が上手いです。広角レンズで青空を広く取ったあたりがベテランの技ですね。春を待つ村人の気持ちが伝わります。



入選「代掻き」

氏名:北原 久美子(徳島県 在住)

撮影地:井川町

撮影日:2016年5月21日

【審査員講評】

水を張ったばかりの棚田で代掻きしている人が写っています。何度も通って、撮っているんですね。昨年の入選作品より水田の数が減っています。棚田保全の大変な現実を見ました。水面に映り込んだブルーがきれいです



入選「雲海の里山」

氏名：楠本 毅(香川県 在住)

撮影地：西祖谷山村

撮影日：2016年12月18日

【審査員講評】

雲海とたわわに実った柿、そして、なんと星との共演です。夢のような幻想的な光景です。月明かりの中で撮られた奇跡の1枚です。



入選「ツツジの咲くころ」

氏名：尾崎 裕(香川県 在住)

撮影地：池田町

撮影日：2016年5月4日

【審査員講評】

黒沢(くろぞう)湿原の沼を赤いスイレンの葉が埋めています。水面に映り込んだ濃いブルーが美しいグラデーションになって、まるでイラストに描いたような清々しい光景です。奥に咲いているツツジもいいアクセントになっています。



入選「みこし渡御」

氏名：大西 隆俊(香川県 在住)

撮影地：池田町

撮影日：2016年10月19日

【審査員講評】

三所神社の秋祭りで神輿を担ぐ人々。川べりの雄大な景色の中を練り歩きます。担ぎ手を確保するのも大変になってきた時代ですが、三百年の伝統が続くように祈ります。



入選「霧のダム湖」

氏名：米沢 美千代(徳島県 在住)

撮影地：池田町

撮影日：2016年7月4日

【審査員講評】

絵のような幻想的な1枚です。川霧の中に浮かぶ、かんどり船。背景に広がる山々の重なりがモノトーンで描かれています。右側の川岸のシルエットが画面を引き締めています。静かな川面の質感の描写がいいですね。



入選「バトンタッチの春」

氏名：森本 功(徳島県 在住)

撮影地：西祖谷山村

撮影日：2016年4月2日

【審査員講評】

満開の桜の中の大歩危駅に停車するトロッコ列車。溪谷を見ながら走る列車も今はない。一度、乗って春の風を味わってみたかったな。



入選「満天の秘境」

氏名：林 昌幸(徳島県 在住)

撮影地：西祖谷山村

撮影日：2016年8月7日

【審査員講評】

かずら橋と天の川の組み合わせです。今まで見たことがない光景です。星が降っているようにクッキリと写っています。今度、行ったら確かめてみようと思います。



入選「福寿草咲く山里」

氏名：赤石 正広(徳島県 在住)

撮影地：東祖谷

撮影日：2016年3月8日

【審査員講評】

ツヤツヤした福寿草が花びらをいっぱいに広げています。奥に続く落合集落を背景にのどかな春の香りを感じます。広角レンズで近寄って、花の大きさに迫力があり、バランスよく配されています。



入選「夕暮れ時の落合集落」

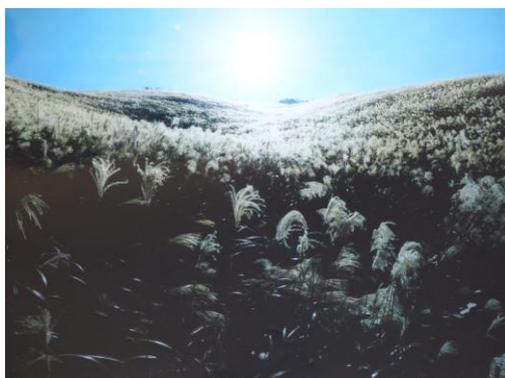
氏名：岩崎 英昭(徳島県 在住)

撮影地：東祖谷

撮影日：2017年1月25日

【審査員講評】

山の頂だけに、わずかに残る赤い光。カゲになった集落は、青い光に包まれています。静まりかえった様子が心に残ります。



奨励賞「秋模様」

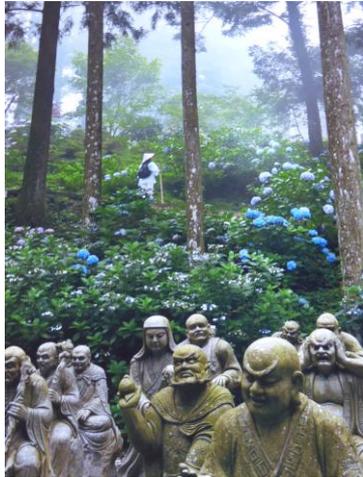
氏名：杉浦 正幸(徳島県 在住)

撮影地：山城町

撮影日：2016年11月5日

【審査員講評】塩塚高原のススキ原はスケールがあります。

全国でも指折りです。太陽を画面に入れた逆光で、動物の毛並みのように、ススキが柔らかく輝いています。



奨励賞「立ち止まる」

氏名：猪口 正(徳島県 在住)

撮影地：池田町

撮影日：2016年7月30日

【審査員講評】霧の中の66番札所、雲辺寺です。標高が千メートルもあるために、下界とは異なる景観に包まれています。五百羅漢像とアジサイ、お遍路さんとお膳立てが完璧です。



奨励賞「秘境の駅」

氏名：藤本 正昭(香川県 在住)

撮影地：池田町

撮影日：2016年11月20日

【審査員講評】坪尻駅は、珍しいスイッチバックの駅です。

利用者の少ない、珍しい秘境の駅として有名です。美しい紅葉のタイミングがいいですね。



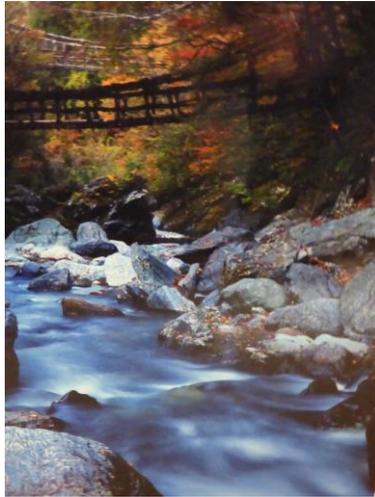
奨励賞「溪谷に浮かぶ」

氏名：増田 実(徳島県 在住)

撮影地：山城町

撮影日：2016年6月29日

【審査員講評】美しく、ゆるやかな溪谷美の場所に、ラフティングボートが12艇も並んでいます。ボートが配されたことによって、雄大な風景が実感できます。ワクワクする気持ちで乗っている人の気持ちが伝わります。



奨励賞「晩秋のかずら橋」

氏名：内山 茂昭(徳島県 在住)

撮影地：東祖谷

撮影日：2016年11月3日

【審査員講評】奥祖谷のかずら橋を河原に降りて撮っています。青い光に包まれた溪流の水の流れがスローシャッターにより幻想的に写りました。



奨励賞「タイムスリップ」

氏名：藤本 香織(徳島県 在住)

撮影地：西祖谷山村

撮影日：2016年11月29日

【審査員講評】ボンネットバスを望遠レンズで撮っています。

かわいい表情になりました。モノクロにしたおかげで、ノスタルジックな雰囲気になりました。



奨励賞「虹伝承」

氏名：小豆 恒夫(香川県 在住)

撮影地：東祖谷

撮影日：2016年9月17日

【審査員講評】虹が出現したところです。それも二重。夏の終わり、強い日差しだから現れたものです。奇跡の1枚です。



奨励賞「晩秋の奥祖谷」

氏名:岩本 幸広(香川県 在住)

撮影地:東祖谷

撮影日:2016年11月15日

【審査員講評】紅葉の枝の隙間から奥祖谷のかずら橋を見上げるアングルで撮っています。小さく配された人物の衣装の色がベストマッチングです。大きさもちょうどいいです。



奨励賞「大歩危川下り」

氏名:山台 雄三(愛媛県 在住)

撮影地:山城町

撮影日:2016年4月16日

【審査員講評】大歩危の遊覧船の乗り場の下には、こんなに魚が群れているのですね。アマゴやコイなど凄い数です。水中カメラを使ったところが、良かったです。



奨励賞「光の架け橋」

氏名:井上 義信(徳島県 在住)

撮影地:山城町

撮影日:2017年1月3日

【審査員講評】美しい星空に走る列車の光跡が素晴らしい組み合わせです。考え抜いて撮られた苦心の1枚でしょう。川面に映える光もきれいです。



奨励賞「朝霧の山里」

氏名：黒川 正(徳島県 在住)

撮影地：池田町

撮影日：2016年11月20日

【審査員講評】早朝、山に登って撮られたスケールのある1枚です。雲海が晴れていく様子が少しブレていて動画を見ているようですね。漆川にもこんな展望ポイントがあるんですね。



奨励賞「しあわせ色に包まれて」

氏名：滝 幸子(徳島県 在住)

撮影地：池田町

撮影日：2016年11月24日

【審査員講評】見事な黄色のじゅうたんです。見たことのないスケールに驚かされました。池田町馬路の境宮神社です。人物を入れたことにより、スケールが出ました。



奨励賞「小歩危峡冬景色」

氏名：岩元 禎(愛媛県 在住)

撮影地：山城町

撮影日：2017年1月23日

【審査員講評】小歩危の白い雪風景の中に在る翡翠色の水が神秘的です。降ったばかりのふっくらした雪が枝にも重そうに積もっています。アングルも奥行きがあつていいですね。ポイントを押さえています。



奨励賞「Let's go!」

氏名:上杉 孝徹(香川県 在住)

撮影地:井川町

撮影日:2016年1月27日

【審査員講評】井川スキー場、腕山(かいなやま)。こんな立派なスキー場が徳島にあるのですね。赤いウェアのスノーボーダーがいいアクセントになっています。ポーズも動きがあってGOODです。リフトの人物や、下のスキーヤーまでシャープに写っています。



奨励賞「幻想的かずら橋」

氏名:松田 昇(徳島県 在住)

撮影地:西祖谷山村

撮影日:2017年1月24日

【審査員講評】雪のかずら橋を、ストロボを焚いてイメージ通りに仕上げています。これだけの大雪は珍しいですね。少し暗めにした背景に白い雪が輝いて、光のバランスもいいと思います。モノクロのように、色を抑えた表現もいいです



奨励賞「妖怪登場!？」

氏名:松本 隆平(愛媛県 在住)

撮影地:山城町

撮影日:2016年11月20日

【審査員講評】色鮮やかな妖怪たちが画面いっぱいに配られて迫力のある1枚になっています。真ん中の妖怪たぬきが抱き上げた子供が小さくて、より妖怪の大きさが強調されています。



奨励賞「阿波の夏」

氏名:三木 雅也(香川県 在住)

撮影地:池田町

撮影日:2016年8月16日

【審査員講評】池田町のアーケード街で盛り上がる、なかにし連。先頭を行く子供達の踊りが可愛いですね。賑やかな音が響いてくるようです。正面からのアングルが堂々としてGOODです。



奨励賞「錦秋 次郎峯」

氏名:加藤 敬二(徳島県 在住)

撮影地:東祖谷

撮影日:2016年10月18日

【審査員講評】馬の背のように山並みが続いています。紅葉も真っ盛りで見事です。当たり年だったようですね。安定感のある構図が上手いです。



奨励賞「アクロバット」

氏名:中村 茂人(徳島県 在住)

撮影地:池田町

撮影日:2016年11月17日

【審査員講評】池田町のダム湖はウェークボードに最適の静かな水面です。ジャンプ、回転など技を競っています。暗い背景に逆光に輝く水しぶきがシャープに写っていて、美しいですね。



奨励賞「神事に向かって」

氏名：峰友 道夫(香川県 在住)

撮影地：井川町

撮影日：2016年11月3日

【審査員講評】井川町馬岡新田神社大祭を撮った
ものです。

揃いの青い法被を着た人々が力いっぱい屋
台(だんじり)を進行させています。後には
昔ながらの衣装を身につけた御旅の行列が続
いています。望遠レンズで撮ったので列が続
く様子が凝縮され、また緻密に写っています。
子供達も見られ賑やかな雰囲気です。